

Vascularity as assessed by Doppler intraoral ultrasound around the invasion front of tongue cancer is a predictor of pathological grade of malignancy and cervical lymph node metastasis

山本, 千佳

<https://hdl.handle.net/2324/1670413>

---

出版情報 : Kyushu University, 2016, 博士 (歯学), 論文博士

バージョン :

権利関係 : Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (3)

氏 名	山本（堀尾） 千佳			
論 文 名	Vascularity as assessed by Doppler intraoral ultrasound around the invasion front of tongue cancer is a predictor of pathological grade of malignancy and cervical lymph node metastasis (口腔内超音波ドプラ像における舌悪性腫瘍辺縁の血流増生像は病理組織学的悪性度やリンパ節転移の予測因子である)			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	清島 保
	副 査	九州大学	教授	中村 誠司
	副 査	九州大学	教授	森 悦秀

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

腫瘍血管新生は腫瘍の増殖やリンパ節転移に影響を及ぼす重要な因子であり、頭頸部扁平上皮癌においても、臨床病期や予後に関わる因子であることが示されている。また、腫瘍深達度や腫瘍辺縁部の病理組織像が頸部リンパ節転移や予後における重要な予測因子となりうることが既に報告されている。しかし、悪性腫瘍の治療開始前の腫瘍内外や腫瘍辺縁部における血流の定量評価は、これまで十分に行われてこなかった。そこで、本研究では術前の口腔内超音波ドプラ像を用いて血流信号の定量解析を行い、腫瘍の悪性度や予後との関連の有無を検討することを目的とした。

舌扁平上皮癌患者 18 名の術前口腔内超音波像において、腫瘍辺縁部と腫瘍内外のドプラ像を定量解析し、腫瘍深達度および腫瘍内外の血流信号を定量評価するための新たな指標（腫瘍内部を占める血流信号の割合 [ratio of blood flow signal area within the cancer to whole tumour area: BAR]、腫瘍辺縁部における血流貫通部位数の割合 [blood flow signal number ratio: BNR]、腫瘍辺縁部における血流貫通域の割合 [blood flow signal width ratio: BWR]）と、頸部リンパ節転移の有無および浸潤様式 ([Yamamoto-Kohama: YK] 分類) との関連を評価した。

深達度および BAR では頸部リンパ節転移や YK 分類との間に有意な相関を認めなかったが、BNR と BWR では頸部リンパ節転移の有無との間に有意差が認められた。また YK-4 症例群の BWR は、YK-2 もしくは YK-3 症例群よりも優位に高値を示した。

以上の内容を持って、本論文は舌癌の腫瘍辺縁部の血管新生を反映した指標である BNR と BWR は、腫瘍悪性度や頸部リンパ節転移を予測する新たな因子となる可能性を呈している。従って、博士（歯学）の学位授与に値する。